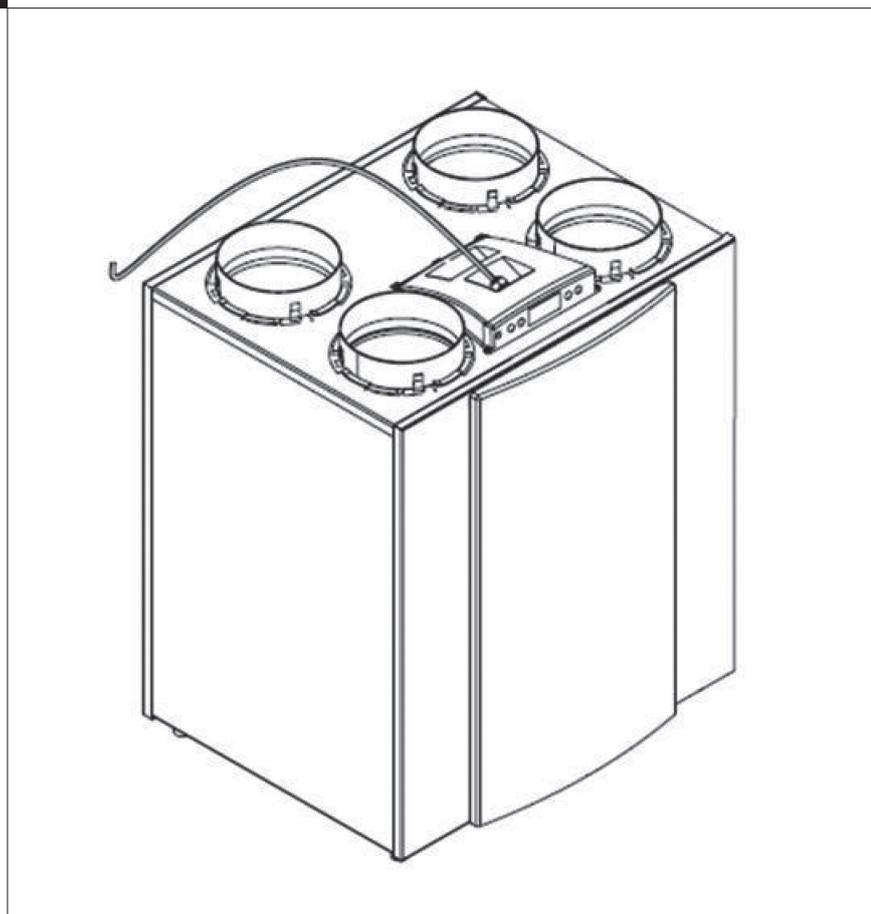


STIEBEL ELTRON

熱交換換気システム 取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型 名…… ●LWZ-170EPlus



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前に P.1 「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 特長	3
3. 各部のなまえと外形寸法	4
3-1. 各部のなまえと外形寸法	4
3-2. 操作部のなまえ	4
4. ご使用方法	5
4-1. 操作部の表示部パネルの見かた	5
4-2. 機器の動かしかた	6
4-3. 風量の設定のしかた	6
4-4. バイパスモードの設定のしかた	8
4-5. フィルター交換メッセージの消しかた	9
4-6. 工場設定値への戻しかた	9
4-7. 機器のON/OFFの切替えかた	10
4-8. 表示部パネルのメッセージ一覧表	10
4-9. 設定モード	11
4-10. オプション品の使い方	14
5. 日常の点検とお手入れ	15
5-1. 機器の清掃	15
5-2. フィルター清掃と交換	15
5-3. 交換用フィルターの購入について	16
5-4. 清掃と定期点検	17
6. 故障かな?と思ったら	17
7. 点検及び修理について	18
8. 仕様	19

取付説明書

1. 安全上のご注意	21
2. 機器設置工事	25
2-1. 各部のなまえと同梱部材一覧表	25
2-2. 取付け方法	26
2-3. ダクト配管	28
2-4. ドレン配管	29
3. 電気配線工事	30
3-1. 配線図	30
3-2. 電源ケーブル接続	31
3-3. 風量切替スイッチ(オプション品)接続	31
4. 動作状況の確認と設定変更	33
4-1. 動作状況読込モード	33
4-2. 各種の設定	34
4-3. エラー確認モード	34
5. 試運転	36
保証書	37

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  濡れた手でコントローラを操作や、機器のフィルター交換をしないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  可燃性のガスが漏れた場合は、機器を操作しないでください。
-  機器の近くや、お部屋の給排気口近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管しないでください。
-  機器は、お手入れ中以外は、停止しないでください。(除湿運転による停止を除く。)

指示

-  機器に異常が発生した場合は、機器専用のブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
-  機器の移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。
-  機器が正しく取り付けられ、機器がしっかりと固定されていることを確かめてください。
-  補強を行なっても震災、その他の天変地異で落下する可能性があります。万が一落下した場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
 - ①機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてください。
 - ②落下物がある場合は取り除いてください。
 - ③建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。
-  子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意

禁止

-  機器の上に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
-  ファンモーターが故障し動いていない場合は、そのまま使用しないでください。
-  ドレン配管が詰まる、または接続されていない状態では使用しないでください。
-  機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。

	前面パネル	天板パネル	左面パネル	右面パネル	下面パネル
離隔距離	700mm以上	400mm以上	50mm以上	50mm以上	400mm以上

注意

-  フィルターの点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。
-  機器運転中は、フィルターカセットを必ず機器に固定した状態にしてください。
-  夏場にエアコンの設定温度を下げ過ぎると、機器からの水漏れが発生する可能性があります。

指示

-  フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除をしてください。
-  フィルターの点検清掃をする場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。
-  フィルターを機器に戻す際は、フィルターの配置を間違えないようにしてください。
-  ドレン配管が詰まると、漏水の原因となりますので定期的に掃除してください。
-  ドレン配管を点検清掃する場合は、必ず機器専用のブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。
-  設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
-  外気条件と機器設置場所の露点温度によっては、ダクトや機器表面が結露する場合があります。その際は結露水を拭き取ってください。
-  台風や強い雨、及び吹雪、霧が発生した場合等、外気が高湿度の場合は、機器内部で水滴が発生して滴下することがありますので、運転を一時的に停止してください。
-  機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
-  機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

2. 特長

LWZ-170EPlus (本書では「機器」と表記) は、給気と排気の2つの送風機 (EC遠心ファン) を利用して、屋外の新鮮な空気を屋内に取り入れ、屋内の汚れた空気を排出します。その際、排出する空気から高効率で熱回収を行ない、屋外から取り入れる新鮮な空気に回収した熱を効率よく加えます。これにより、暖冷房負荷の削減に寄与できる換気システムです。

操作は、機器前面のコントローラで行ないます。5m³/h単位できめ細かく設定風量を変更できるため、換気による無駄なエネルギーロスをカットすることができます。

●バイパスモード (P.8 4-4項)

バイパスモードとは夏季で外気温度が室内温度より低い場合に、自動的に外気を熱交換せずに直接室内に導入することで、外気により室内を冷やす機能 (外気冷房) です。

外気温度が10℃以上かつ、外気温度よりも室内温度が高いという条件下 (P. 8 4-4項) で設定した温度より室内温度が高くなると自動的に動作します。

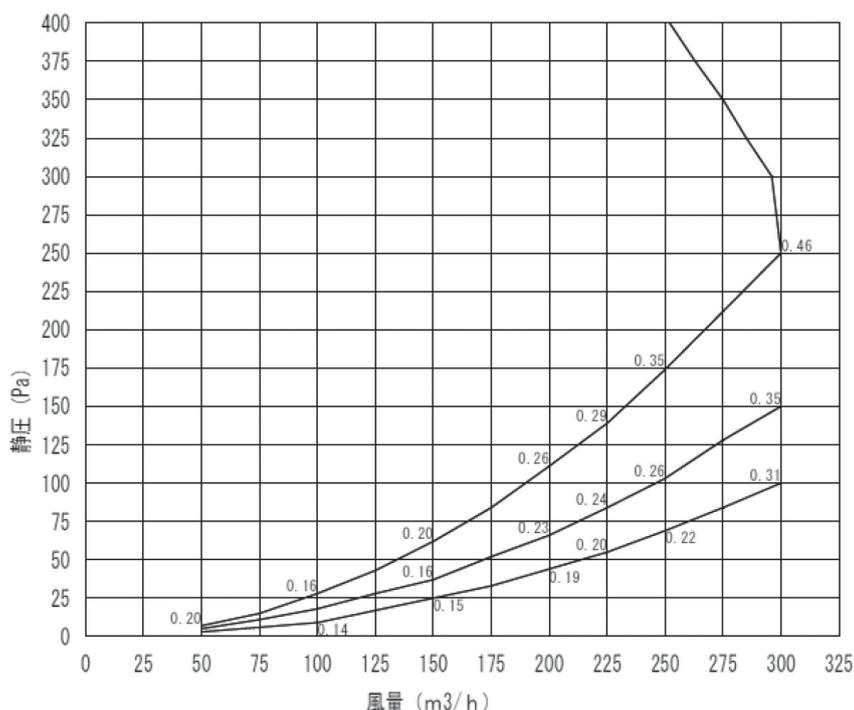
●プレヒーター (P.11 4-9項)

寒冷地において、厳冬期でも新鮮空気を加熱することで換気量を維持すると共に高い熱交換効率を維持することができます。

●顕熱交換型換気システム

室内で発生した臭気や、湿気等が新鮮な外気と交わらないシステムです。

湿気の多い場所も機器1台で換気可能になります。



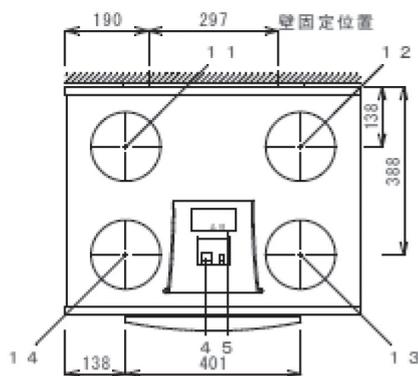
図中の数字は、比消費電力 (W / (m³/h))

LWZ-170EPlus P-Q特性図

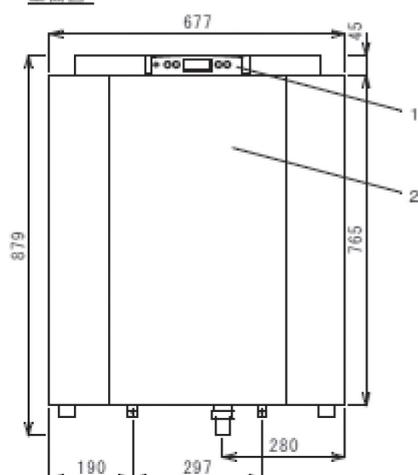
LWZ-170EPlusは、操作部、またはオプション品の風量切替スイッチにより換気風量を簡単に調節することができます。設定した風量を維持するために、ファンの回転数を自動制御します。この機能により、住宅の換気量を一定に保つことができます。(圧力損失の変化による換気量不足、過多を無くします。)

3. 各部のなまえと外形寸法

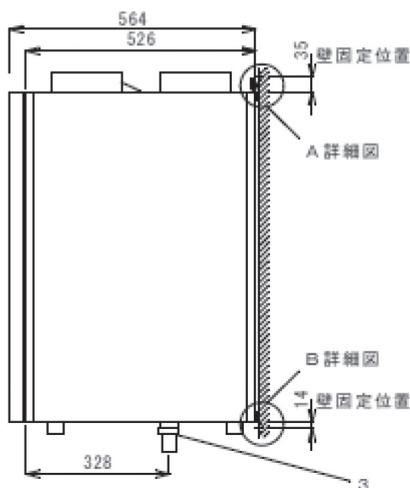
3-1. 各部のなまえと外形寸法



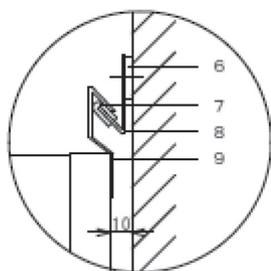
上面図



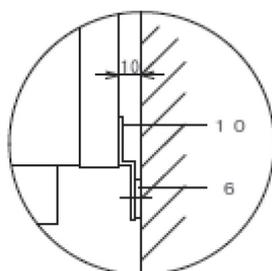
正面図



右面図



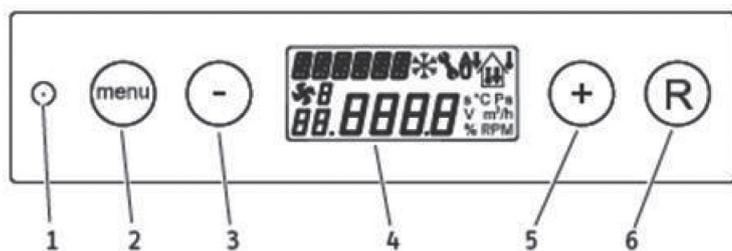
A 詳細図



B 詳細図

- 1 : 操作部
- 2 : フィルターカバー
- 3 : ドレン管
- 4 : 電源ケーブル引込口
- 5 : モジュージャック接続口
- 6 : 壁取付金具用パッキンA
- 7 : 壁取付金具用パッキンB
- 8 : 壁側背面固定金具
- 9 : 機器側背面固定金具
- 10 : LWZ耐震補強金具
- 11 : O A接続口
- 12 : E A接続口
- 13 : S A接続口
- 14 : R A接続口

3-2. 操作部のなまえ

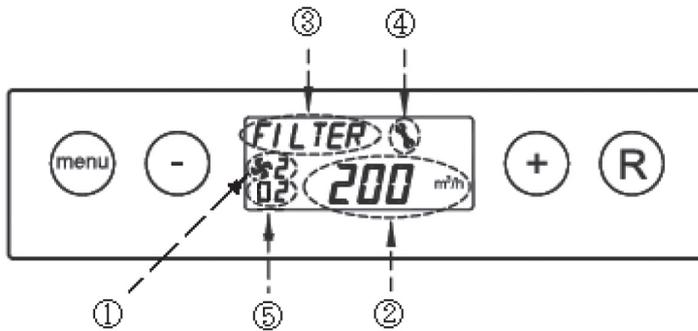


- 1 : サービスプラグ
- 2 : 「menu」ボタン
- 3 : 「-」ボタン
- 4 : 表示部パネル
- 5 : 「+」ボタン
- 6 : 「R」ボタン

4. ご使用方法

4-1. 操作部の表示部パネルの見かた

4-1-1. 基本表示



- ①：設定風量ポジション（基本表示）
- ②：設定風量（基本表示）
- ③：メッセージ欄／モード表示
- ④：マーク表示
- ⑤：設定番号表示

MEMO

○オプションの風量切替スイッチを接続している場合、①は常に設定風量のポジションの数値（1、2、3）を表示します。

4-1-2. マーク表示他詳細

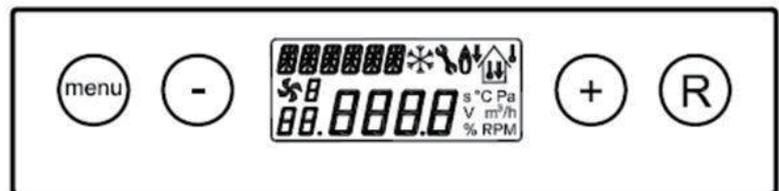
	表示	名称	動作状態
マーク表示		デフロスト運転	給気風量を減らして、機器内部の除霜を行ないます。一定時間経過後、通常運転に戻ります。
		ファン停止エラー	ファンが停止しています。P.18「7項」をご参照の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
		スパナマーク	修理を必要としています。P.18「7項」をご参照の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
		プレヒーター動作	プレヒーターが働いています。外気温度センサーが設定温度（-1.5℃）以下の状態であることを示します。
メッセージ欄		メッセージ欄	フィルターの清掃、または交換を促す等、機器の状態を表示します。P.10「4-8項」をご参照ください。
モード表示	SET	設定モード	この表示状態の時に、通常設定値を変更できます。変更方法は、P.6「4-3項」 P.8「4-4項」をご参照ください。
	READ	動作状況読込モード	この表示状態の時は、現在の動作状況を表示しています。別途、指定がない限り操作の必要はありません。
	SERV	エラー確認モード	この表示状態の時は、エラーの履歴を確認することができます。別途、指定がない限り操作の必要はありません。
設定風量表示		風量設定表示	設定風量のポジションを表示しています。 「02」：弱運転 「03」：標準運転 「04」：強運転
設定番号表示	01～46	—	設定モード：設定番号表示（P.12「4-9-2項」をご参照ください。） 動作状況読込モード：現在の動作状況番号表示 エラー確認モード：エラー数表示

4-2. 機器の動かしかた

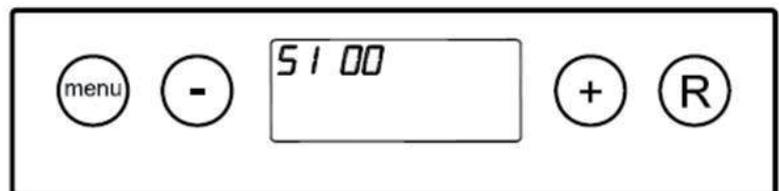
①専用ブレーカを「入」(ON)にします。



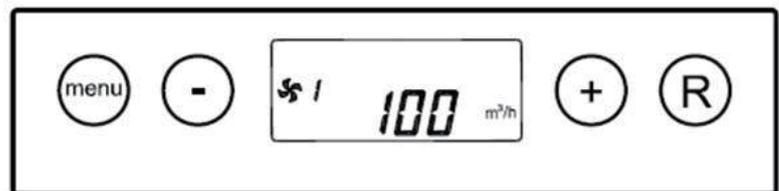
●表示部パネルの全表示が2秒間点灯します。



●機器のソフトのバージョンが、2秒間点灯します。



②基本表示になり、設定風量に従い運転を開始することを確認します。

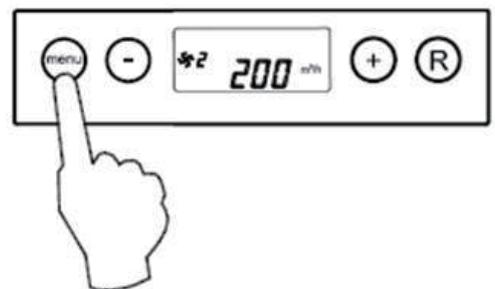


MEMO

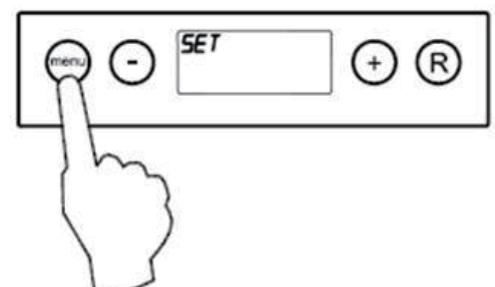
●OFF表示になっている場合は、P. 10「4-7. 機器のON/OFFの切替えかた」を参照してください。

4-3. 風量の設定のしかた

①基本表示の状態ですべての「menu」ボタンを押す、表示部パネルに「SET」を表示させます。



②①の状態から「menu」ボタンを押す、設定モードに入ります。



③②の後、「+」ボタンと「-」ボタンで表示部パネル上の、下線部の設定番号を「02~04」から選択します。

- 弱運転の設定の場合：「02」を選択します。
- 標準運転の設定の場合：「03」を選択します。
- 強運転の設定の場合：「04」を選択します。

MEMO

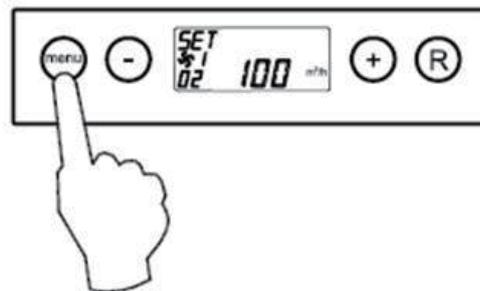
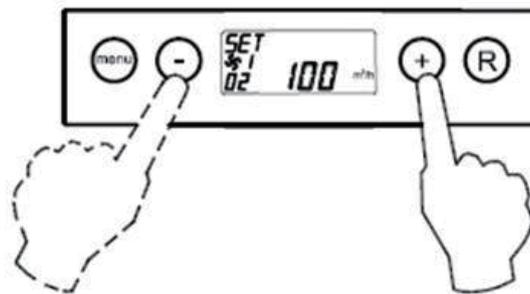
●設定風量は下記を目安に設定します。

弱運転：住宅の換気回数 0.3 (回/h)

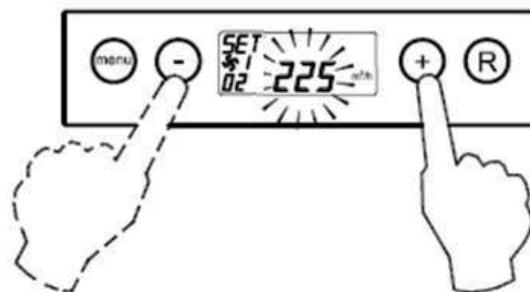
標準運転：住宅の換気回数 0.5 (回/h)

強運転：住宅の換気回数 0.7 (回/h)

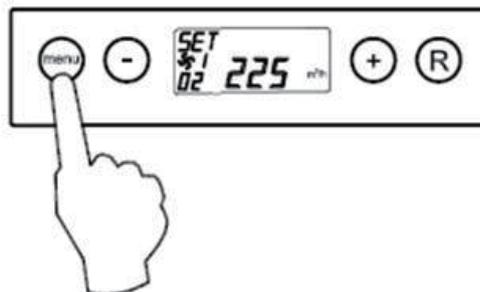
④「menu」ボタンを押して、設定変更可能状態(数値が点滅状態)にします。



⑤設定風量を「+」ボタン、「-」ボタンで、5m³/h単位で変更します。



⑥⑤で設定風量を変更後、「menu」ボタンを押して、変更した設定風量を確定します。

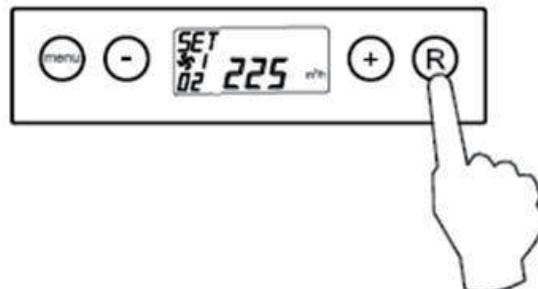


✓ ご注意

●セットコードは、設定変更により、現在変更しているセットコード以外の設定も連動して変更になる場合がありますので、上記以外の設定変更を行なった場合は、他の設定も変更になっていないかご確認ください。

⑦「R」ボタンを1回押すと、設定モードに戻ります。

また、設定モードの状態では、「R」ボタンを1回押すと、基本表示に戻ります。

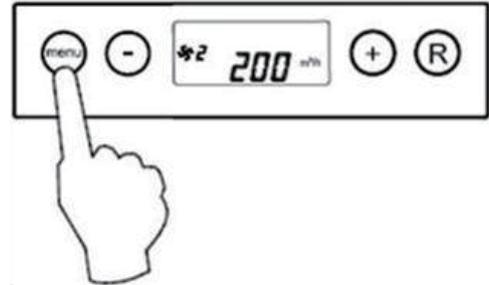


4-4. バイパスモードの設定のしかた

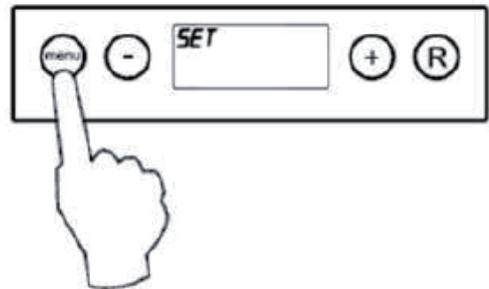
バイパスモードとは夏季で外気温度が室内温度より低い場合に、自動的に外気を熱交換せずに直接室内に導入することで、外気により室内を冷やす機能（外気冷房）です。

外気温度が10℃以上かつ、外気温度よりも室内温度が高いという条件下で設定した温度より室内温度が高くなると自動的に動作します。

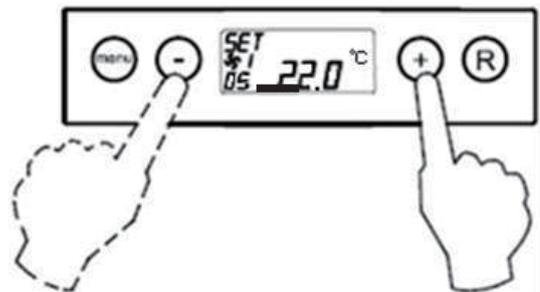
- ①基本表示の状態です。「menu」ボタンを押して、表示部パネルに「SET」を表示させます。



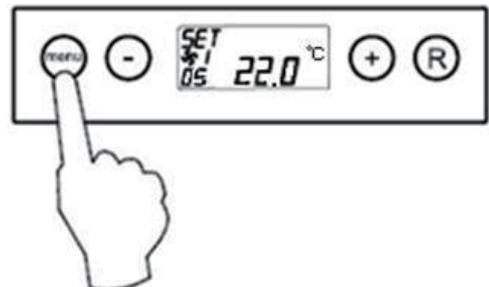
- ②①の状態から「menu」ボタンを押して、設定モードに入ります。



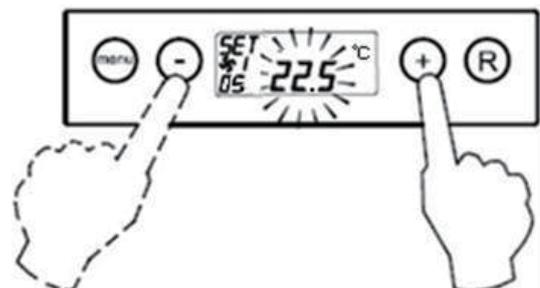
- ③②の後、「+」ボタンと「-」ボタンで表示部パネル上の、下線部の設定番号を「05」と表示させます。



- ④「menu」ボタンを押して、設定変更可能状態（数値が点滅状態）にします。



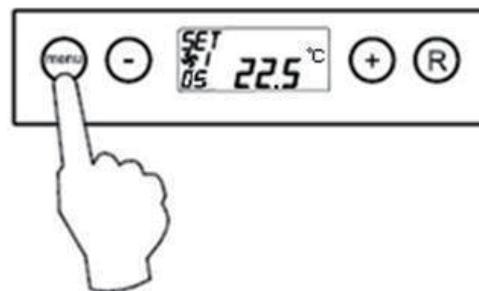
- ⑤設定温度を「+」ボタン、「-」ボタン押して、0.5℃単位で変更します。



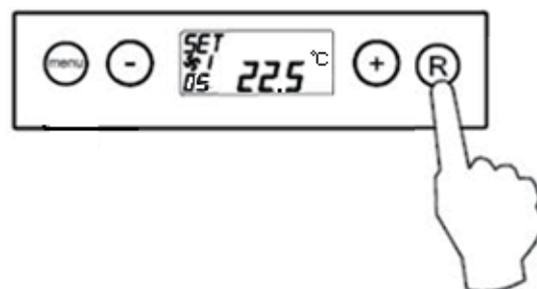
MEMO

- 暖房期間中は、暖房器具の設定温度より5℃以上高く設定します。
- それ以外の期間は、希望する室内温度に設定温度を合わせておきます。

⑥⑤の設定温度を変更後、「menu」ボタンを押して、変更した設定温度を確定します。



⑦「R」ボタンを1回押すと、設定モードに戻ります。また、設定モードの状態では、「R」ボタンを1回押すと、基本表示に戻ります。



4-5. フィルター交換メッセージの消しかた

①基本表示の状態では「FILTER」表示が出ている場合「R」ボタンを5秒間押し続けると「FILTER」表示が消えます。



5秒間

4-6. 工場設定値への戻しかた

①基本表示の状態では「+」ボタンと「-」ボタンを同時に10秒間押します。



同時に10秒間

②表示部パネルの全表示が3秒間点灯します。



③基本表示に戻り、各設定が工場設定値に戻ります。工場設定値は、P.12「4-9-2. 通常設定一覧表」をご参照ください。



4-7. 機器のON/OFFの切替えかた

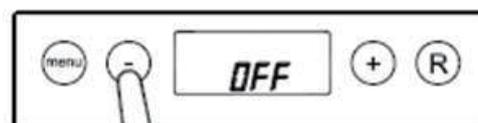
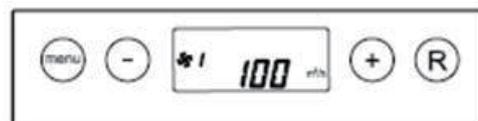
4-7-1. 機器を停止する

- ①基本表示の状態で、「-」ボタンを5秒間押します。
- ②表示部パネルに「OFF」と表示されて、機器が停止します。



おねがい

- 機器は、お手入れ中以外は停止しないでください。



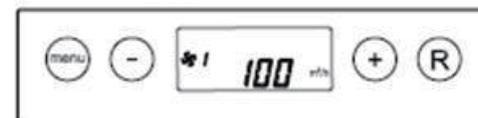
5秒間

4-7-2. 機器を動かす

- ①表示部パネルが「OFF」と表示されている状態で、「-」ボタンを5秒間押します。



5秒間



- ②基本表示状態になり、機器が動き始めます。

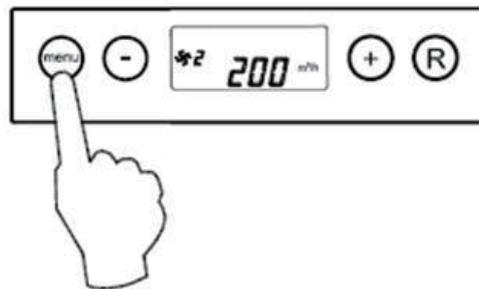
4-8. 表示部パネルのメッセージ一覧表

メッセージ	詳細	表示部
FILTER	フィルターの点検清掃が必要であることを示します。	
なし	複数台制御の親機、または単機であることを示します。	
Slave2 ~Slave9	複数台制御の子機であることを示します。	
EWT	外付け熱交換器が動作していることを示します。	
CN1/CN2	外付スイッチにより動作していることを示します。	
V1/V2	外部電圧を検知しています。	

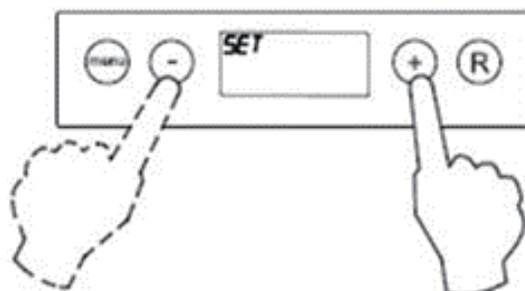
4-9. 設定モード

4-9-1. 各種設定の変更のしかた

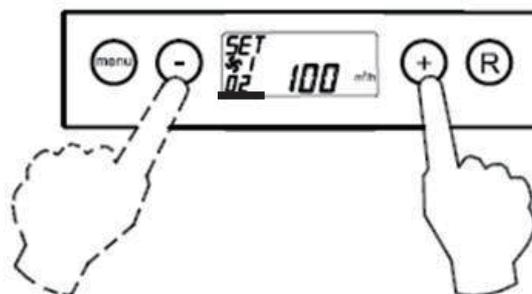
①基本表示の状態ですべてのボタンを押して、表示部パネルを設定モードにします。



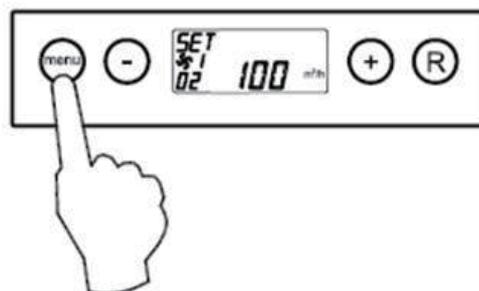
②①の状態から「+」ボタン、または「-」ボタンを押して、「SET」を選択して、「menu」ボタンを押します。



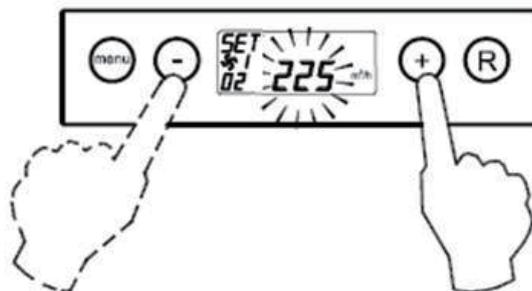
③②の後、「+」ボタンと「-」ボタンで表示部パネル上の、下線部の設定番号を「01～29」から選択して表示させます。



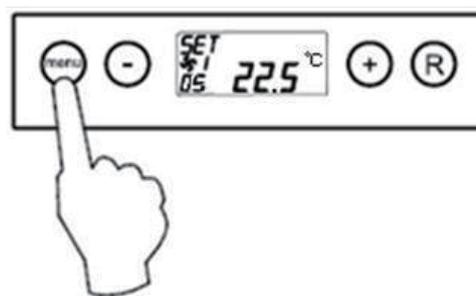
④「menu」ボタンを押して、設定変更可能状態（数値が点滅状態）にします。



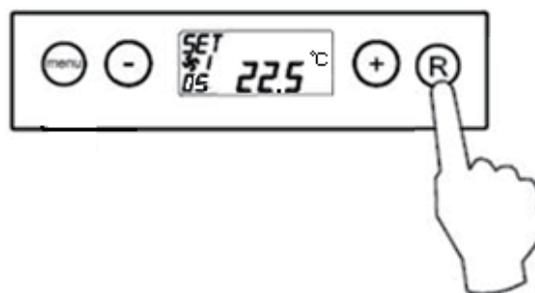
⑤「+」ボタン、「-」ボタンを押して、選択した設定番号の動作に関する値を変更します。



⑥⑤で設定した値を変更後、「menu」ボタンを押して、変更した数値を確定します。



⑦「R」ボタンを1回押すと、設定モードに戻ります。また、設定モードの状態では、「R」ボタンを1回押すと、基本表示に戻ります。



MEMO

- バイパス機能を使用しない場合は、設定番号7を「1」に設定します。
- プレヒーターを使用する場合は、設定番号13を「1」に設定します。

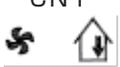
おねがい

- 設定番号6、及び14～29は、工場設定の値のままご使用ください。

4-9-2. 通常設定一覧表

設定番号	動作内容	工場設定	設定範囲	設定単位	表示
1	設定風量	50	0 / 50	m ³ /h	
2	弱運転設定風量「1」	100	50～300	5m ³ /h	
3	通常運転設定風量「2」	150	50～300	5m ³ /h	
4	強運転設定風量「3」	225	50～300	5m ³ /h	
5	バイパス設定温度	22.0	15.0～35.0	0.5℃	BYPASS
6	バイパスディファレンシャル	2.0	0.0～5.0	0.5℃	BYPASS
7	バイパス設定	0	0 : 自動 1 : 強制閉 2 : 強制開	-	BYPASS
11	定風量制御	ON	OFF : 給気量=排気量 ON : 「12」で調整可能	-	
12	SA風量調整	0	-100～100	1m ³ /h	
13	プレヒーター	0	0 : プレヒーターOFF 1 : プレヒーターON 2 : 外付けヒーター	-	HEATER

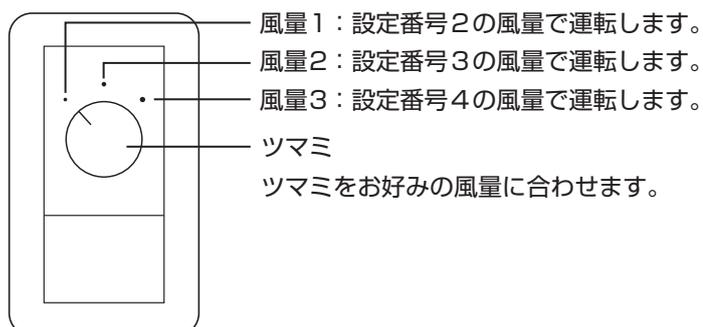
4-9-3. オプション設定一覧表

設定番号	動作内容	工場設定	設定範囲	設定単位	表示
8	複数台制御	EbUS	OT EbUS	-	OT/BUS
9	バスアドレス	0	0~9 (0=Master)	-	BUSADR
10	セントラル暖房 +熱回収	OFF	OFF ON	-	Central heating + heat recovery
14	給気再加熱用 温度設定	21.0	15.0~30.0	0.5℃	HEATER 
15	入力1	0	0 (N/O contact) 1 (0-10V input) 2 (N/C contact) 3 (bypass open=12V closed=0V) 4 (bypass open=0V closed=12V)	-	V1
16	入力1の最小電圧	0.0V	0-10	0.5V	V1MIN
17	入力1の最大電圧	10.0V	0-10	0.5V	V1MAX
18	入力1調整スイッチ	0	0 (OFF) 1 (ON) 2 (バイパス動作条件時ON) 3 (バイパスコントロール) 4 (寝室用設定)	-	CN1
19	入力1 SA ファンスイッチ	5	0 (SAファンOFF) 1 (最小風量50m ³ /hで動作) 2 (弱運転で動作) 3 (通常運転で動作) 4 (強運転で動作) 5 (風量切替スイッチに従い動作) 6 (最大風量で動作) 7 (SAファンコントロール停止)	-	CN1 
20	入力1 EA ファンスイッチ	5	0 (EAファンOFF) 1 (最小風量50m ³ /hで動作) 2 (弱運転で動作) 3 (通常運転で動作) 4 (強運転で動作) 5 (風量切替スイッチに従い動作) 6 (最大風量で動作) 7 (RAファンコントロール停止)	-	CN1 
21	入力2	1	0 (A接点) 1 (0-10V input) 2 (B接点) 3 (Bypass open=12V close=0V) 4 (Bypass open=0V close=12V)	-	V2
22	入力2の最小電圧	0.0V	0-10	-	V2MIN
23	入力2の最大電圧	10.0V	0-10	-	V2MAX
24	入力2調整スイッチ	0	0 (OFF) 1 (ON) 2 (バイパス動作条件時ON) 3 (バイパスコントロール) 4 (寝室用設定)	-	CN2
25	入力2 SA ファンスイッチ	5	0 (SAファンOFF) 1 (最小風量50m ³ /hで動作) 2 (弱運転で動作) 3 (通常運転で動作) 4 (強運転で動作) 5 (風量切替スイッチに従い動作) 6 (最大風量で動作) 7 (SAファンコントロール停止)	-	CN2 

設定番号	動作内容	工場設定	設定範囲	設定単位	表示
26	入力2EA ファンスイッチ	5	0 (EAファンOFF) 1 (最小風量50m ³ /hで動作) 2 (弱運転で動作) 3 (通常運転で動作) 4 (強運転で動作) 5 (風量切替スイッチに従い動作) 6 (最大風量で動作) 7 (RAファンコントロール停止)	-	CN2 
27	地熱熱交換	OFF	OFF:地熱交換OFF ON:地熱交換ON	-	EWT
28	地熱熱交換時の最小温度	5.0	0.0~10.0	0.5℃	EWT T- 
29	地熱熱交換時の最大温度	25.0	15.0~40.0	0.5℃	EWT T+ 
30	湿度センサー	OFF	OFF (湿度センサー未使用) ON (湿度センサー使用)	-	
31	湿度センサー調整	0	-2~2	1	
35	CO ₂ センサー	OFF	OFF-ON	-	
36	CO ₂ センサー1 最小PPM	400	400-2000	25ppm	
37	CO ₂ センサー1 最大PPM	1200	400-2000	25ppm	
38	CO ₂ センサー2 最小PPM	400	400-2000	25ppm	
39	CO ₂ センサー2 最大PPM	1200	400-2000	25ppm	
40	CO ₂ センサー3 最小PPM	400	400-2000	25ppm	
41	CO ₂ センサー3 最大PPM	1200	400-2000	25ppm	
42	CO ₂ センサー4 最小PPM	400	400-2000	25ppm	
43	CO ₂ センサー4 最大PPM	1200	400-2000	25ppm	
44	流量補正	100	90-110	1%	
45	初期スイッチ設定	1	0 (50m ³ /h) 1 (弱運転設定風量)	-	
46	接続設定	1	1 (接続なし) 3 (接続あり)	-	

*設定番号は設定変更に連動して表示されない場合があります。確認の際は、必ず設定番号を確認してください。

4-10. オプション品の使い方



✓ ご注意

- 風量を切り替える場合は、10秒以上間隔を開けて操作してください。連続して風量切り替え操作した場合は、機器を保護するために風量切り替えにロックが掛かる場合があります。
- ロックが掛かった場合は、風量切替スイッチをロックの掛かっている設定に戻し、10秒以上間隔を開けてから風量を切り替えてください。

5. 日常の点検とお手入れ

5-1. 機器の清掃

機器の外装を清掃する場合、通常は乾いた布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

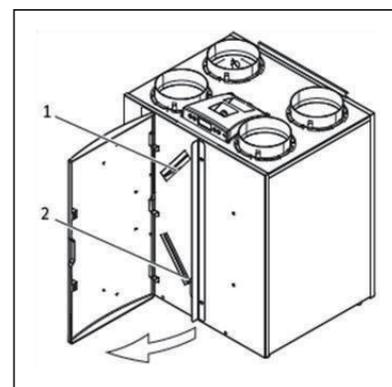


- ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロン製のたわし等の使用は、機器を傷めますので絶対にやめてください。
- 機器を水で洗わないでください。また、水に浸けないでください。
- 足場を確保して、転倒等のないように注意してください。

5-2. フィルター清掃と交換

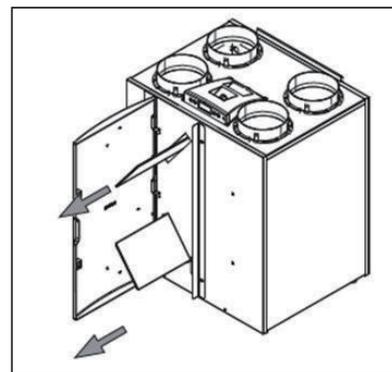
③表示パネルのメッセージ欄に「F I L T E R」と表示された場合、または3ヶ月に一度を目安にフィルターを清掃してください。

- ①P. 10「4-7. 機器のON/OFFの切替えかた」を参照して機器を停止させます。
- ②フィルターカバーの右中央の取手を持ち、手前側に引きフィルターカバーを開きます。



1：室内からの還気フィルター
2：室内への給気フィルター

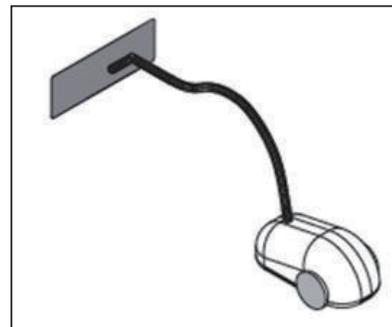
③2つのフィルターを手前に引き出し、機器から抜き取ります。



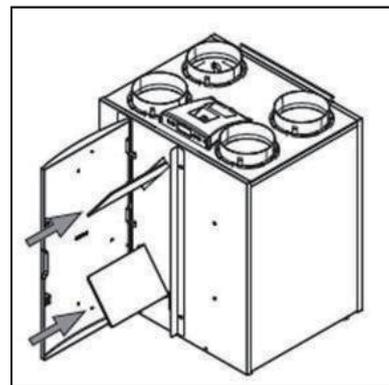
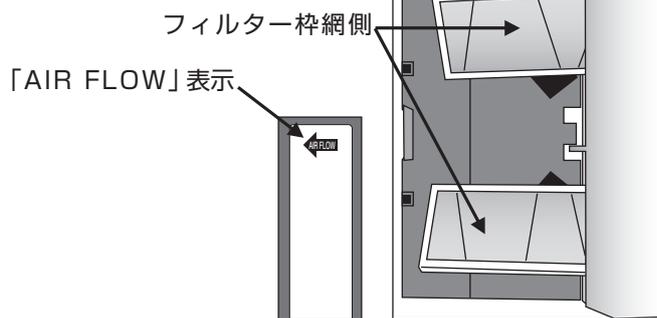
④2つのフィルターを掃除機等で清掃します。



- 機器を長くご使用いただくために、年1回を目安にフィルターを交換してください。ただし、汚れがひどい場合は、適時フィルターを交換してください。
- フィルターは、水洗いしないでください



- ⑤ フィルター枠の網側が機器の内側を向くようにフィルターを装着します。



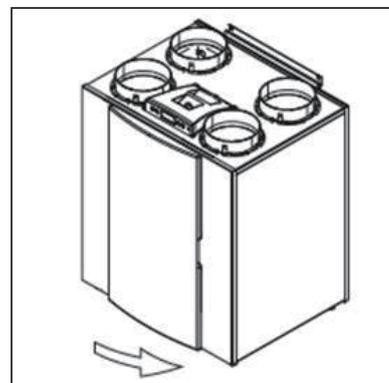
MEMO

- 高性能フィルターは側面に記載されている「AIR FLOW」の矢印の先端側を機器の内側に向けます。
- 高性能フィルターは、下段の室内への給気側のみのご使用でも構いません。
- 高性能フィルターをご使用の場合は、フィルターフレームとフィルターが一体のため、フィルターフレームごと高性能フィルターに交換します。

- ⑥ フィルターカバーを閉じます。

- ⑦ 「-」ボタンを5秒間押し、機器をONにします。(P. 10「4-7. 機器のON / OFFの切替えかた」参照)

- ⑧ 「R」ボタンを5秒間押し、「FILTER」表示を消します。(P. 9「4-5. フィルター交換メッセージの消しかた」参照)



ご注意

- 高性能フィルターを使用する際は、標準フィルターのフレームは使用しませんが、標準フィルターを再度使用する際は必要となりますので廃棄せずに保管してください。

5-3. 交換用フィルターの購入について

- ① 機器本体の交換用フィルターは、右図のQRコードからのサイト、または下記のアドレスのサイトから購入することができます。

[<https://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/>]



ホーム > 換気フィルター

カテゴリ	換気フィルター	
浄水器 >	全6商品 おすすめ順 価格順 新着順	
換気フィルター >		
グループ		
浄水器 >	標準仕様フィルター LWZ-170EPlus / LWZ-370Plus用 9,680円(税込)	高性能フィルターL WZ-170EPlus / LWZ-370Plus用 SOLD OUT
	👉	👉

おねがい

- 該当する機器のフィルターを購入してください。

- ② 「標準仕様フィルター (10枚1組)」を購入したい場合は、「標準仕様フィルター LWZ-170EPlus/LWZ-370Plus用」を選択します。

- ③ 「高性能フィルター (2枚1組)」を購入したい場合は、「高性能フィルター LWZ-170EPlus/LWZ-370Plus用」を選択します。

5-4. 清掃と定期点検

- ①定期的に給排気グリル、屋外の給排気フードの清掃を行なうことをお勧めします。清掃がされていないと下記の問題が発生する場合があります。
- i) 住宅内で十分な換気がされない。
 - ii) 機器の消費電力が大きくなる。
 - iii) 住宅内での結露の発生。
- ②3年を目処に専門業者による定期清掃を行なうことをお勧めいたします。
- ③お買い上げより10年を目処に必ず専門業者による機器の点検を実施してください。

6. 故障かな？と思ったら

症 状	考えられる原因	対 策
給気がされていない。	外気フードが詰まっている。	屋外の外気フードを清掃してください。
排気がされていない。	排気グリルが詰まっている。	室内の排気グリルを清掃してください。
表示部パネルに「F I L T E R」と表示している。	フィルターの清掃、または交換のサインです。	P. 9 4-5項を参照して、フィルターの清掃、または交換後に「R」ボタンを5秒間押してください。
設定風量を変更できない。	P. 6「4-3. 風量の設定のしかた」を参照して操作してください。	左記でも作業ができない場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
風量切替スイッチで風量を変更できない。	風量切替スイッチ、またはその配線の不具合の可能性があります。	日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
表示部パネルにスパナマークが点灯している。	機器内部の不具合の可能性があります。	日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
機器の音が大きくなる。	デフロスト運転や、設定風量を大きくした場合、外気フードや排気グリルが詰まっている場合等があります。	屋外の外気フードと室内の排気グリル、機器のフィルターを清掃し、デフロスト運転がされていない状態でも音が大きいままの場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
機器から水が垂れてくる。	機器下部のドレン管につながる配管が詰まっていないことを確認してください。	ご自身で確認できない場合、ドレン管につながる配管が詰まっていない場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

上記で、改善しない場合は、再度ブレーカを「入/切」(ON/OFF)し状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

7. 点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、P. 17「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで下記のQRコードから日本スティーベル(株)のHPのお問合せフォーム、または下記からお問い合わせください。



TEL: 03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ① 機種名 : 銘板ラベルに併記
- ② 製造番号 : 銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の具体的内容 : ファンが回らない等の症状、及びご使用条件
- ④ お取付け年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。



- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、ダクト/ドレンの配管工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

8. 仕様

型名		LWZ-170EPlus
電源		単相 200V 50/60Hz
寸法	幅 (mm)	765
	高さ (mm)	677
	奥行 (mm)	564
最大風量 (m ³ /h)		300
消費電力 (W)		138
最大電流 (A) ※2		6
プレヒーター消費電力 (W) ※1		1053
プレヒーター最大電流 (A) ※1		5.3
騒音 (dB)		38
質量 (kg)		38
ダクト接続口径 (mm)		160
ドレン管接続口径 (mm)		32
熱交換方式		顕熱交換式
有効換気量 (%)		95
熱交換効率 (%)		90
周囲温度	最低温度 (°C)	15
	最高温度 (°C)	30
使用温度	外気温度 (°C)	-25~40
	室内温度 (°C)	15~35 / 24°C以上 (夏季、室内冷房時)
フィルター	外気側	G4クラス
	還気側	G4クラス
オプション品		風量切替スイッチDJ型 高性能フィルター

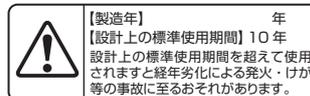
※1：プレヒーターのヒーター容量です。夏季／中間期は、通常通電しません。

※2：最大電流は、プレヒーター使用時です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

<本体への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するため
に電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



<設計上の標準使用期間とは>

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（下表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

本機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし J I S C9921-2 に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。

○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件 J I S C9921-2 による

環境条件	電圧	単相200V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20°C	J I S C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間/年	

STIEBEL ELTRON

熱交換換気システム

取付説明書

(保証書付)

型 名…… ●LWZ-170EPlus

取付工事店様へ

- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに本書のP. 21「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。

日本スティーベル株式会社

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  付属の電源ケーブルを外さないでください。
-  取り外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  機器は屋外や、湿気が多い場所、浴室、並びにP. 19「8. 仕様」に記載の周囲温度の範囲外になるような環境下には設置しないでください。
-  床面に設置するのは、絶対にお止めください。
-  機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  外気の取り入れ口は、燃焼ガスや住宅の排気を吸い込む位置、積雪等で埋もれる位置、水辺側の壁面には設けないでください。
-  電源ケーブル先端にコンセントプラグを使用しないでください。
-  機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物品を置かないでください。

	前面パネル	天板パネル	左面パネル	右面パネル	下面パネル
離隔距離	700mm以上	400mm以上	50mm以上	50mm以上	400mm以上

注意



メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの壁材に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板等が電氣的に接触しないよう取り付けてください。



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、周囲に遊びをとらないでください。



電源ケーブルをジョイントボックス内で弛ませないでください。

指示



電源ケーブルは、屋内配線と直結してください。



機器はP. 21「1. 安全上のご注意」に記載の離隔距離を守って設置してください。



機器がしっかりと固定されていることを確かめてください。



電源仕様、定格電流、及び消費電力を銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しい配線を行なってください。



機器専用のブレーカを1台設置してください。



アースは第三種接地工事（D種接地）を行なってください。



電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。



機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡しをせず、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。



機器の前面には、必ずフィルター交換と、機器本体の点検を行なえるスペースを設けてください。

注意

禁止



設置前の機器は、雨水が当たる場所や、雪上、氷上に置かないでください。



機器の天板に物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。



ドレン配管は、二重トラップにしないでください。



機器はフィルター清掃が不可能な高所には設置しないでください。



次の様なダクト工事はしないでください。(風量の低下や異常音発生、結露等の原因になります。)

- | | |
|----------------|------------------------------------|
| ①極端な曲げ。 | ⑦O A、E Aの配管に非断熱ダクトを使用する。 |
| ②多数の曲げ。 | ⑧断熱範囲外に露出するS A、R Aの配管に非断熱ダクトを使用する。 |
| ③急激なしぼり。 | ⑨O Aの配管先端を、屋外の排気口や排ガスが発生する場所に設置する。 |
| ④ダクト接続部そばでの曲げ。 | ⑩O Aの配管先端を、池や湖等の水場に面した壁面に設置する。 |
| ⑤ダクトを弛ませる。 | ⑪ダクト接続部に気密テープをまかない。 |
| ⑥ダクトを固定していない。 | ⑫ダクトを他の機器の給気に直結する。 |



ドレン水の凍結による水漏れ防止のため、屋外へのドレン水の排水や、ドレン配管の露出を行わないでください。



機器の内部部品や交換用部品等を他の電気機器には使用しないでください。

！ 指示



機器は、床に対して垂直になるように設置してください。



換気計算に基づいて選定した機器を設置してください。



機器は、必ず機器の質量に耐えられる補強された物に固定してください。



機器は、居室(寝室)等の天井や床下への設置は避けてください。



ドレンの配管工事は、横引き管に10%以上の勾配を必ずつけてください。



ドレンの配管には、必ずトラップを設け、機器内部の負圧が原因となる逆流を防止してください。



ドレン配管上のトラップは、清掃できるようにしてください。



共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により2mの鋼板立ち上がりダクトを取り付けるか、煙逆流防止ダンパー、及びその点検口を必ず設けてください。



ダクト配管は、機器から下り勾配になるように取り付け、O Aダクト/E Aダクトには必ず断熱処理を行ない、R Aダクト/S Aダクトは必要に応じて断熱処理を確実にこなしてください。



給排気ダクトの先端には、雨水等の侵入を防ぐための屋外フード等を取り付けてください。



海塩粒子等の吸い込みによる機器の著しい腐食を避けるため、海風の当たらない場所に外気(O A)取り入れ口を設けてください。



地区計画等で指定がある場合や、防火区画を貫通する場所には防火ダンパーを設けてください。



気密は経年劣化の少ないテープ、またはシール等を使用してください。



取り付けの際は肌の露出を避け、作業用手袋、保護メガネ等を着用してください。(板金部品で怪我をする、ダクトの断熱材に使用されているグラスウール等で皮膚が刺激されることがあります。)



仕上げ材、及び下地材に使用する木質材料、固定用の接着材等にはホルムアルデヒド等のVOCの放散が基準値以下になるものを使用してください。

- ❗ 設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
- ❗ 機器運転中は、フィルターカセットを必ず正しい配置と向きで、機器に装着した状態で使用してください。
- ❗ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ❗ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行なってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ❗ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようにお渡しください。

2. 機器設置工事

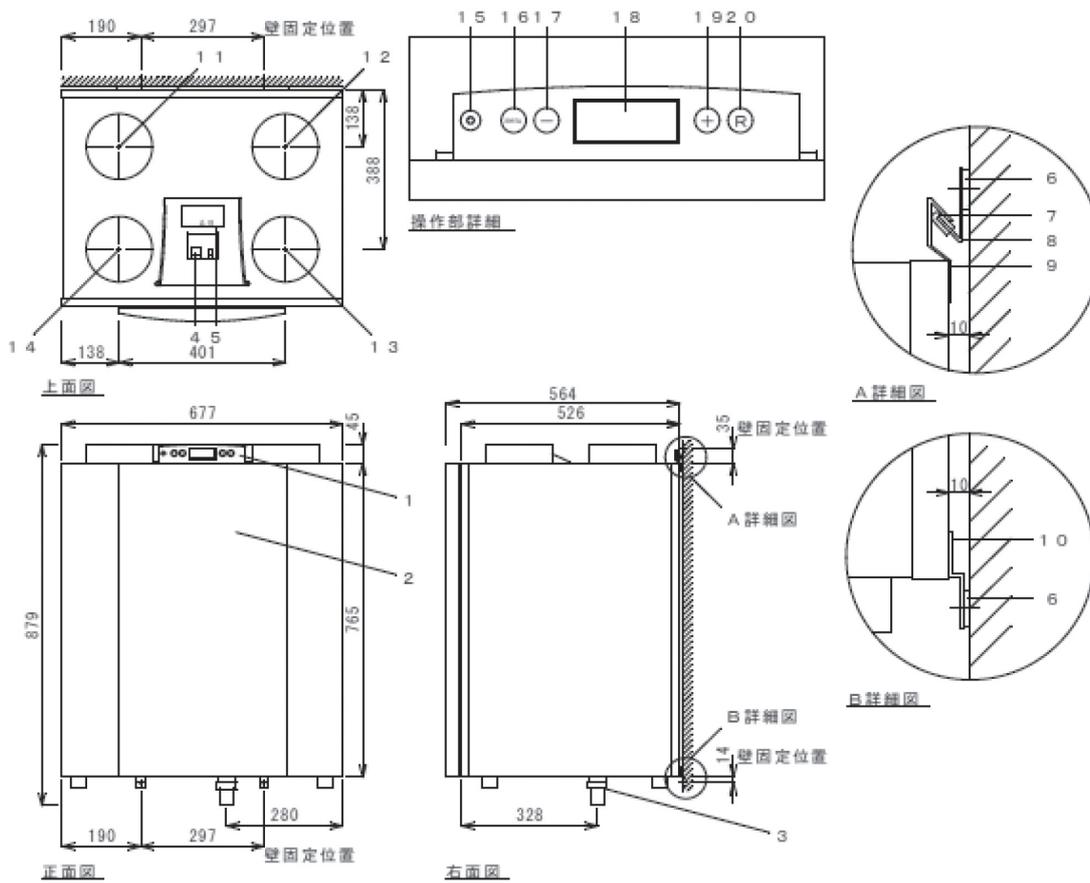
2-1. 各部のなまえと同梱部材一覧表

2-1-1. 同梱部材一覧

次の部材が同梱されていることを確認してください。

- | | |
|----------------------|------------------------------------|
| 1. LWZ-170EPIs本体 | 9. スペーサー (3個) |
| 2. 本体側背面固定金具 (1個) | 10. 風量切替スイッチ用モジュラー付専用ケーブル (1本 1m) |
| 3. 壁側背面固定金具 (1個) | 11. LWZ耐震補強金具 (2個) |
| 4. ドレン用VC管32mm (1個) | 12. LWZ耐震補強金具用ビス (4本 5×30) |
| 5. VC管用シーリングリング (1個) | 13. LWZ耐震補強金具用ワッシャー (4枚 M5×16×1.0) |
| 6. VC管止めナット (1個) | 14. 壁取付用ゴムワッシャー (4個) |
| 7. 取扱取付説明書 (本書) | |
| 8. 壁取付用シリコンカバー (1本) | |

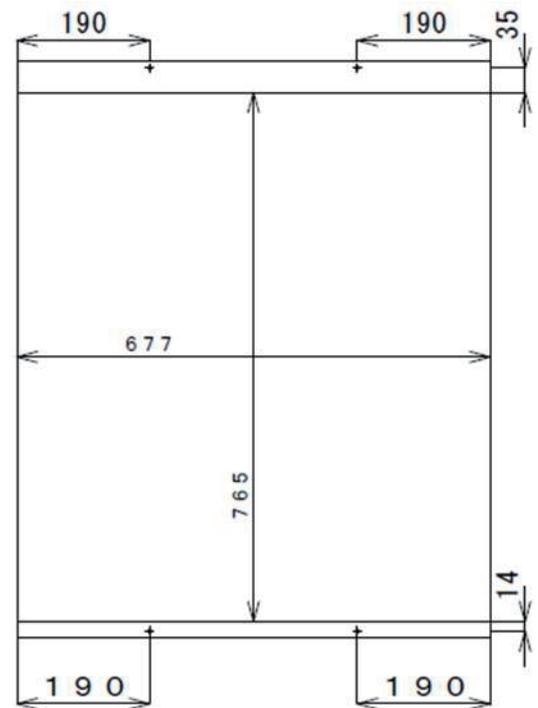
2-1-2. 各部のなまえ



- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 : 操作部 | 11 : OA接続口 (Φ160) |
| 2 : フィルターカバー | 12 : EA接続口 (Φ160) |
| 3 : ドレン用VC管 | 13 : SA接続口 (Φ160) |
| 4 : 電源ケーブル引込口 | 14 : RA接続口 (Φ160) |
| 5 : モジュラージャック接続口 | 15 : サービスプラグ |
| 6 : 壁取付金具用ゴムワッシャー | 16 : 「menu」ボタン |
| 7 : 壁取付金具用シリコンカバー | 17 : 「-」ボタン |
| 8 : 壁側背面固定金具 | 18 : 表示部パネル |
| 9 : 本体側背面固定金具 | 19 : 「+」ボタン |
| 10 : LWZ耐震補強金具 | 20 : 「R」ボタン |

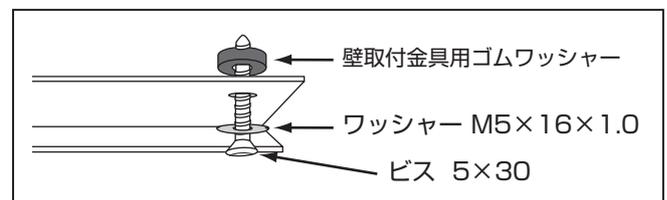
2-2. 取付け方法

2-1-1. 壁固定位置



2-1-2. 壁側背面固定金具の設置

①壁側背面固定金具、及びLWZ耐震補強金具の止め位置が補強（ 200 kg/m^2 以上の荷重に耐える）されていることを確認します。



②壁側背面固定金具を、付属のネジ5×30とワッシャーM5×16×1.0とゴムワッシャーを各2個使用して壁に固定します。

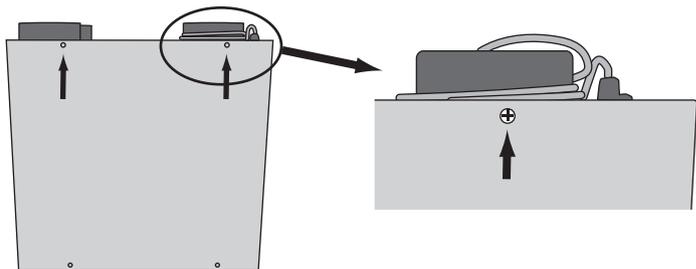


2-2-3. 機器への金具の設置

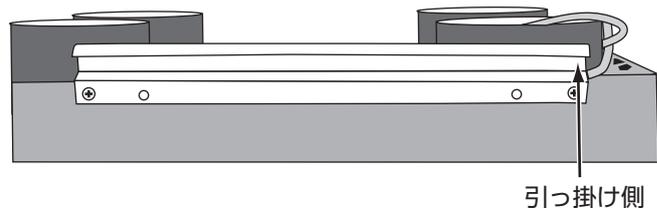
① 機器背面上部のネジを2本外します。



- ネジ部の破損を防ぐためインパクトドライバーは用いないでください。



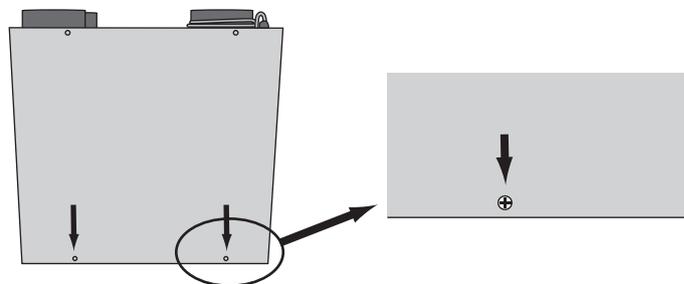
② 本体側背面固定金具を引っ掛けがある側を背面側に向けて①で外したネジ2本で固定します。



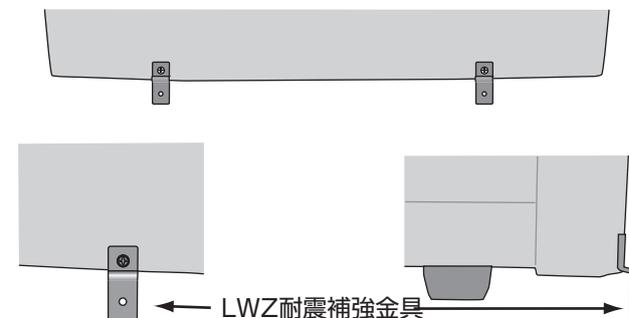
③ 機器背面下部のネジを2本外します。



- 上部と下部のネジは同時に外さないでください。

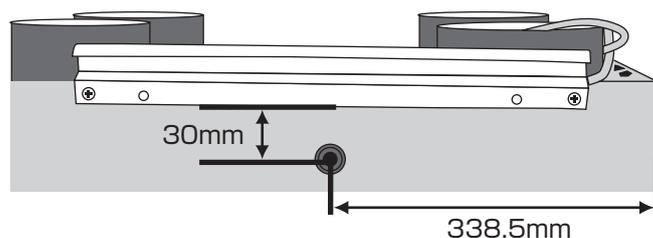
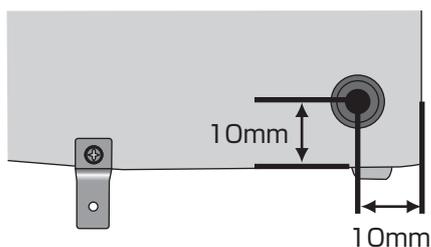


④ LWZ耐震補強金具の大きい方の穴側を機器背面下部のネジ穴に合わせ、③で外したネジ2本で固定します。



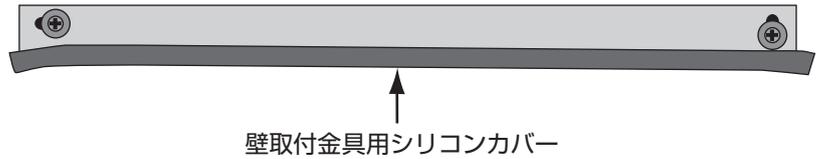
⑤ 付属のスペーサー3個を、各々機器背面の下記の位置に貼り付けます。

- i) 機器下端から10mm、機器左端から10mm
- ii) 機器下端から10mm、機器右端から10mm
- iii) 本体側背面固定金具下端から30mm、機器左端から338.5mm

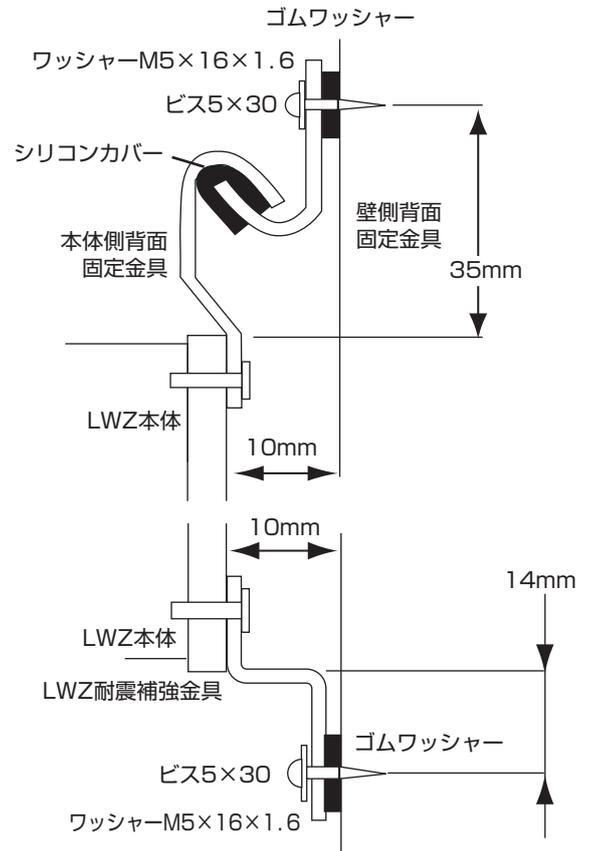


2-2-4. 機器を壁に固定します。

- ①壁側背面固定金具の先端部に同梱の壁取付金具用シリコンカバーを付けます。



- ②本体側背面固定金具の引っ掛け部を壁側背面固定金具に引っ掛けます。



- ③2個のLWZ耐震補強金具の裏面に、壁取付金具用ゴムワッシャーをそれぞれ挟み、ネジ5×30とワッシャーM5×16×1.0で固定します。

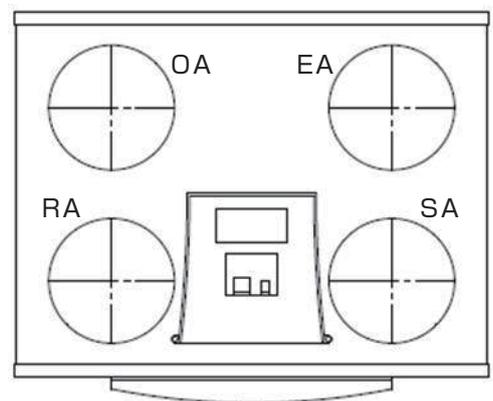
2-3. ダクト配管

- ①下記に従い背面側からダクトを接続してください。

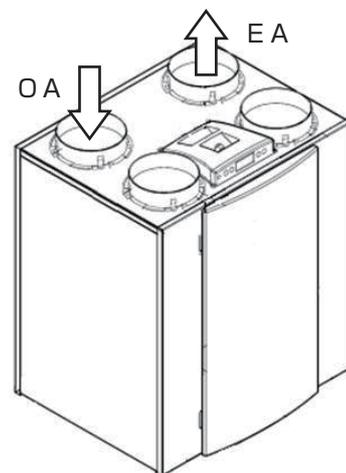
背面右側：EAのダクト（屋外へ排気）
 背面左側：OAのダクト（屋外から給気）
 前面右側：SAのダクト（室内へ給気）
 前面左側：RAのダクト（室内から還気）

MEMO

- 機器のダクト接続の直径は160mmです。一般的なフレキシブルダクトは呼び径がφ150でも直径10mmまでは接続可能なものが多いですが、接続できない場合は、レジューサ等の異径継手等を使用してください。



- ②ダクト接続は、ダクト固定用バンドと気密テープで漏気が無いように固定します。



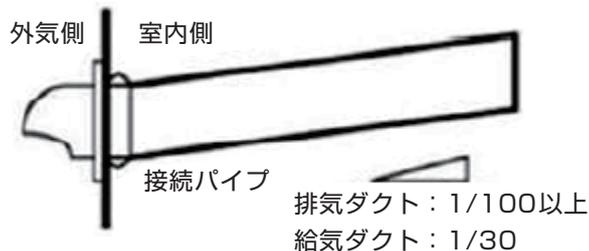
MEMO

- OAのダクトとEAのダクトは、冬場に冷気が通るので、ダクト表面の結露防止のために、必ず断熱ダクトを使用するか、断熱材を隙間なく巻きます。

- ③OAのダクトとEAのダクトは、外壁側に向かって下り勾配になるように配管します。

おねがい

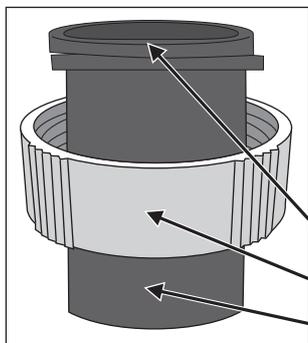
- 機器側に向かって下り勾配にすると、故障の原因となる恐れがあります。必ず外壁側に向かって下り勾配にしてください。



- ④RAとSAのダクトは、機器から管末側に向かって1/100の下り勾配になるように配管します。(ただし、浴室の排気の場合は1/30)
- ⑤機器、曲げ、継手、チャンバー、グリルやフード等の各区間の間隔は1m以上離します。
- ⑥横引きのダクトは、弛まないように1m毎に支持を行ないます。また、縦引きの場合は、1.5m毎に支持します。
- ⑦ダクトの曲げの前後で支持します。

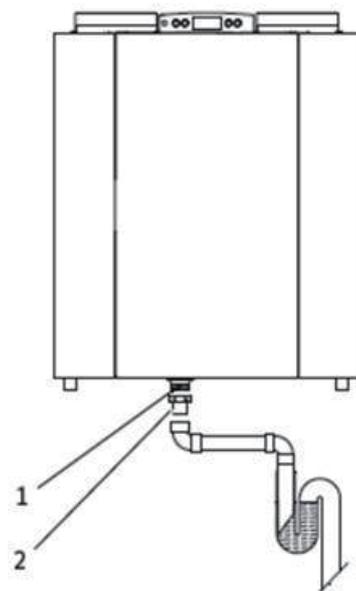
2-4. ドレン配管

- ①ドレン用VC管の機器との接続面にVC管用シーリングリングを置きます。
- ②ドレン用VC管をVC管止めナットで機器に接続します。



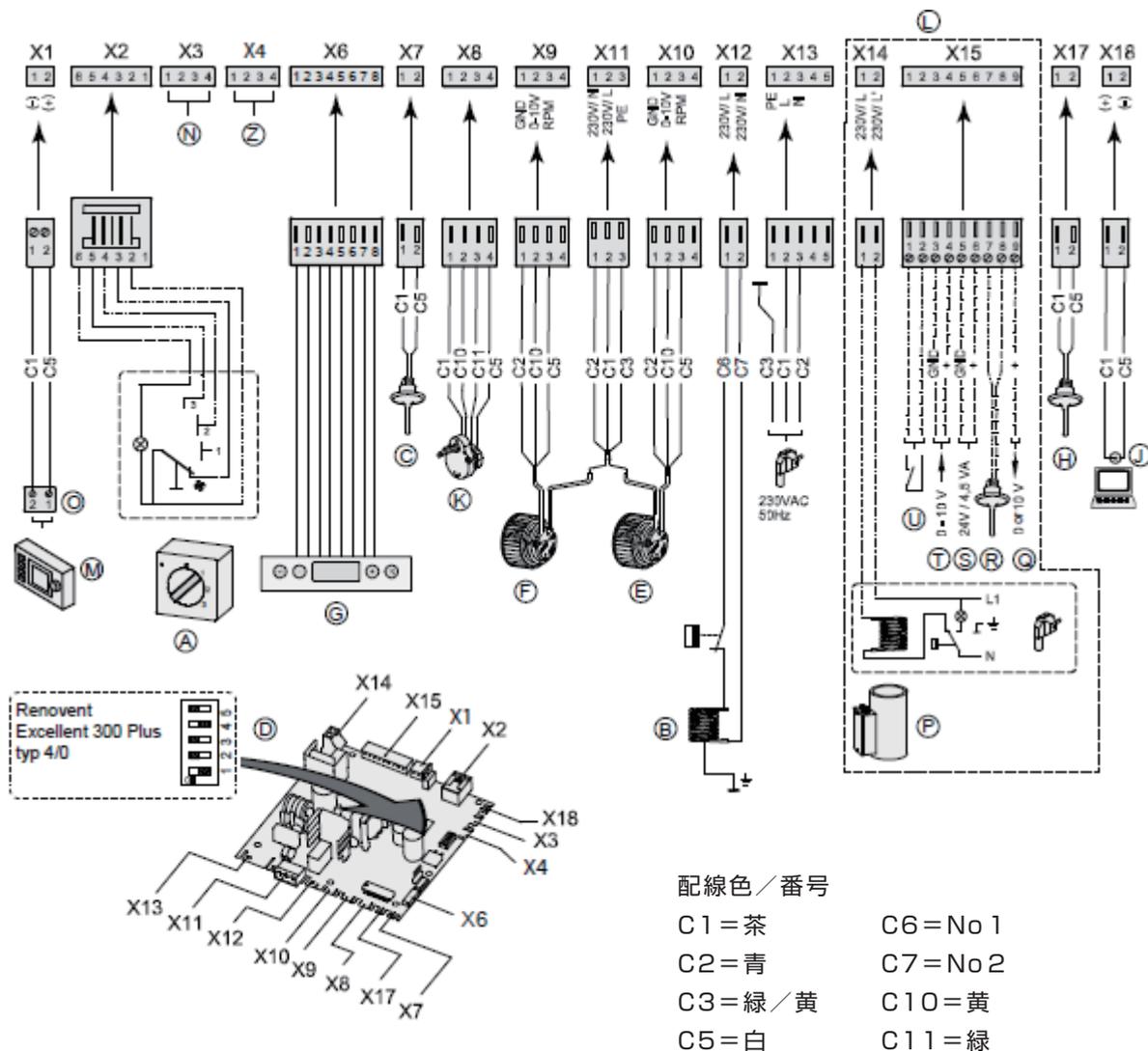
- 1 : 機器ドレン管接続口
 2 : ドレン用VC管 (32mm)
 3 : VC管用シーリングリング
 4 : VC管止めナット

- ③ドレン用VC管に32Aの配管を接続し、トラップに接続します。
- ④ドレンホースを横引きする場合は、10°以上の下り勾配をつけます。
- ⑤雑排水間等の配管へ、間接排水を行ないます。
- ⑥寒冷地では屋内のドレン配管が結露する場合があります。必要に応じてドレン配管に断熱材を巻いてください。



3. 電気配線工事

3-1. 配線図



- | | |
|-------------------|-----------------|
| A : 風量切替スイッチ | N : 未使用 |
| B : プレヒーター | O : EBUSコネクション |
| C : 外気温度センサー | P : 追加ヒーター |
| D : 基板 | Q : 出力0 + 10V |
| E : SAファン | R : 追加ヒーター用センサー |
| F : EAファン | S : 24Vコネクション |
| G : 操作部 | T : 入力1 - 10V |
| H : 室内温度センサー | U : N/Oコンタクト |
| J : サービスプラグ | Z : 湿度センサー |
| K : バイパスダンパー用モーター | |

3-2. 電源ケーブル接続

- ①電源ケーブルは、機器上部中央にあります。屋内配線（1.6mm以上3芯）をその周辺で接続できるように配線します。
- ②屋内配線の壁からの引き出し口にはジョイントボックスを設置し、その中で電源ケーブルと圧着接続できるようにします。
- ③機器上部中央の電源引込口から出ている電源ケーブルを、屋内配線と圧着接続します。

3-3. 風量切替スイッチ（オプション品）の接続

3-3-1. 事前準備

風量切替スイッチを取り付ける場合は、必ず付属のモジュラーケーブル（0.5mm²が必要になります）。

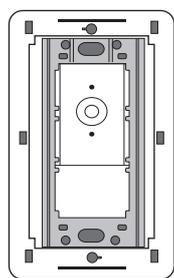
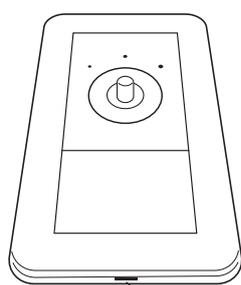
モジュラーケーブルは、必ず3芯の1.6mm、または2.0mmの屋内配線（長さ10m以内）とコネクタ等により接続の上で風量切替スイッチに接続する必要があります。

おねがい

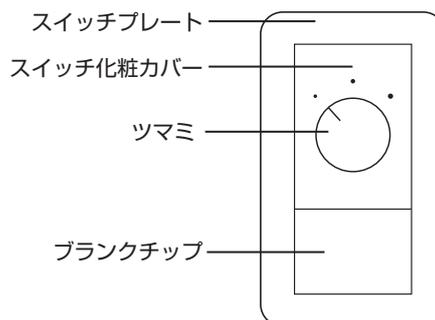
- モジュラーケーブルは、電源ケーブルから遠ざけて設置してください。
- モジュラーケーブルの使用しない配線は、必ず絶縁処理を行なってください。
- モジュラーケーブルは、先端の棒端子を切り落として延長するケーブルと異径配線を接続できる端子、またはコネクタで屋内配線と接続してください。

3-3-2. 風量切替スイッチDJ型取り付け

- ①LWZのモジュラーケーブルの「P(0V)」、「2」、「3」の3本の配線を、それぞれ付属のスイッチ用コネクタ2P(右図)を介して1.6mm、または2.0mmの屋内配線に接続し、風量切替スイッチDJ型の固定位置に出しておきます。
- ②ツマミを手前に引いて外します。
- ③スイッチプレート下部の溝にマイナドライバーを差し込み、スイッチプレートを外します。（ブランクチップとスイッチ化粧カバーも外れますので注意してください。）

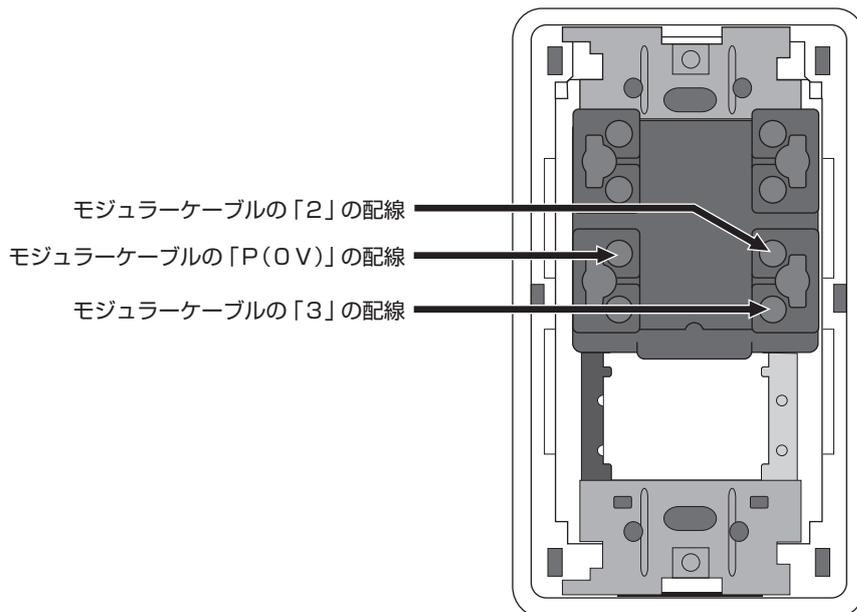


スイッチプレート下部の溝

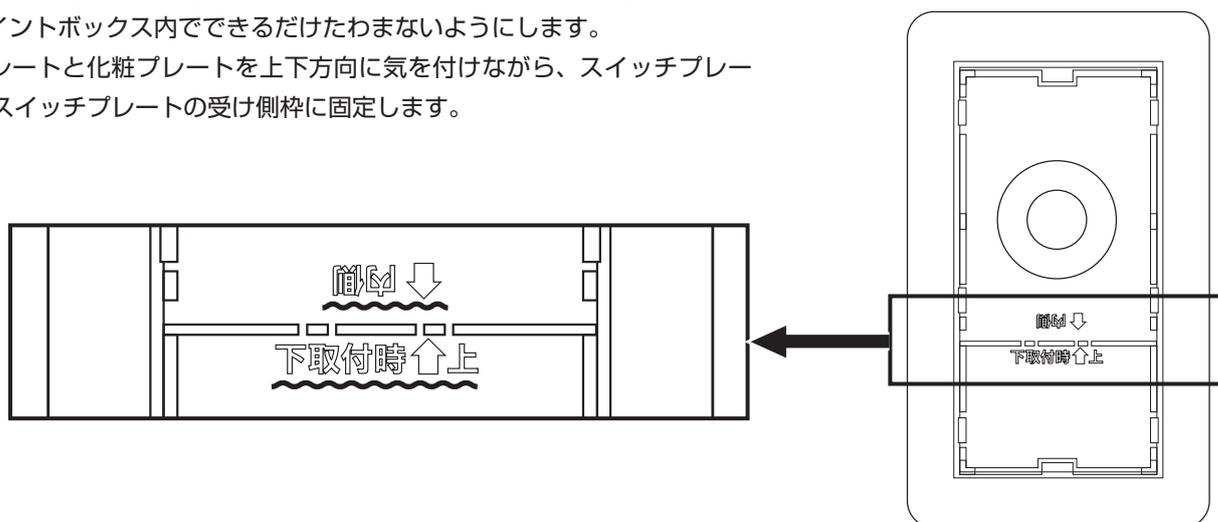


- ④ロータリースwitchの背面「0」の接続口にモジュラーケーブルの「P(0V)」の配線を接続します。
- ⑤ロータリースwitchの背面「2中」の接続口にモジュラーケーブルの「2」の配線を接続します。

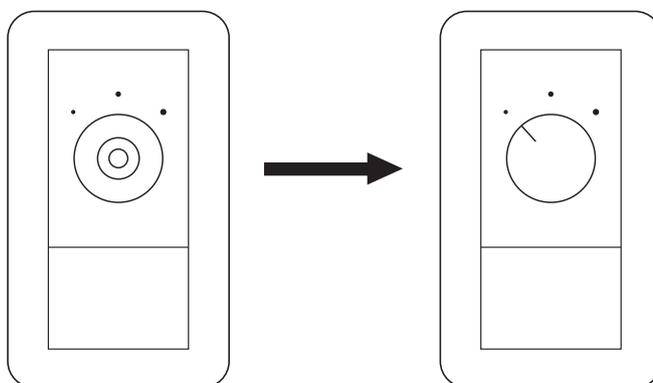
- ⑥ロータリースイッチの背面「3強」の接続口にモジュラーケーブルの「3」の配線を接続します。



- ⑦金属ワンタッチ取付枠を、一連のジョイントボックスにネジ2本で固定します。
配線がジョイントボックス内でできるだけたわまないようにします。
- ⑧ブランクプレートと化粧プレートを上下方向に気を付けながら、スイッチプレートとともにスイッチプレートの受け側枠に固定します。



- ⑨ツマミをロータリースイッチの軸に差し込みます。



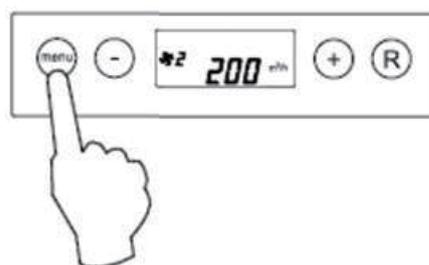
- ⑩LWZシリーズのブレーカを「入」(ON)にして、ツマミの変更に合わせてLWZシリーズの表示が切り替わることを確認してからお客様に引き渡します。

4. 動作状況の確認と設定変更

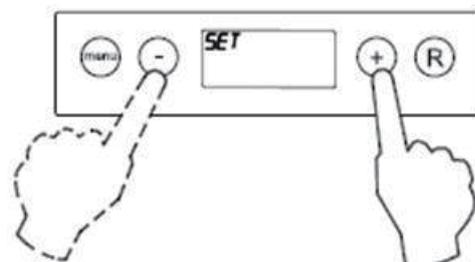
モード表示	設定内容	確認・設定内容
SET	各種設定を変更できます。	P. 11「4-9. 設定モード」 4-9-2. 通常設定一覧表の内容 4-9-3. オプション設定一覧表の内容
READ	各部の動作状況を確認できます。	P. 33「4-1. 各部の動作状況の確認」の情報一覧表の内容
SERV	エラー状態とエラー履歴を確認できます。	P. 34「4-3. エラー確認モード」の内容

4-1. 動作状況読込モード

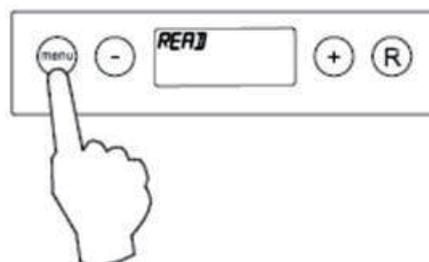
①基本表示の状態です「menu」ボタンを押し、表示部パネルに「SET」を表示させます。



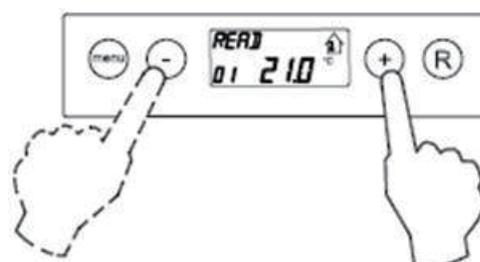
②①の状態です「+」ボタン、または「-」ボタンを押して、「READ」を表示させます。



③「READ」を表示している状態で「menu」ボタンを押し、動作状況読込モードに入ります。

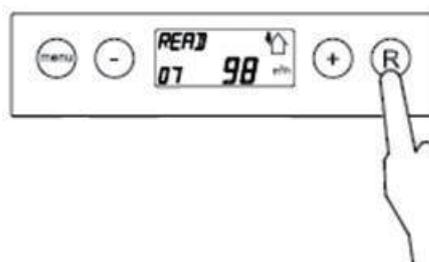


④「+」ボタン、「-」ボタンを押して、「01」～「08」の情報番号を選択します。



⑤「R」ボタンを1回押すと、設定モードに戻ります。

⑥設定モードの状態です、「R」ボタンを1回押すと、基本表示に戻ります。



情報一覧表

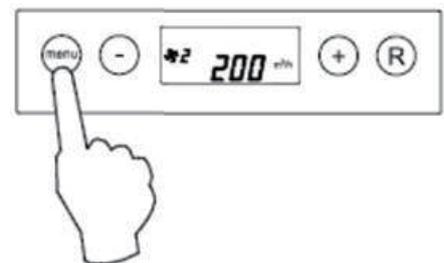
情報番号	表示内容	単位	情報番号	表示内容	単位
01	室内温度	℃	08	E Aファン風量	m ³ /h
02	外気温度	℃	09	湿度 (オプション)	%
03	バイパスの状態 ON : バイパスが開いている OFF : バイパスが閉じている	—	10	—	PPM
03	デフロスト運転 ON : デフロスト運転中 OFF : デフロスト運転していない	—	11	—	PPM
05	S Aダクト圧損	P a	12	—	PPM
06	E Aダクト圧損	P a	13	—	PPM
07	S Aファン風量	m ³ /h			

4-2. 各種の設定

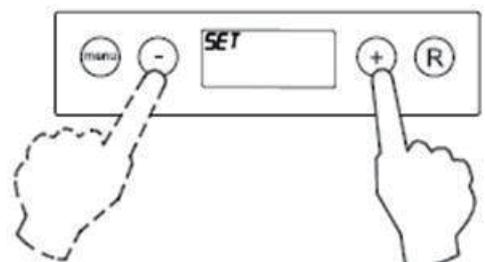
P.11「4-9. 設定モード」を参照し、設定風量やバイパスの動作温度、プレヒーターの使用の有無等を設定します。

4-3. エラー確認モード

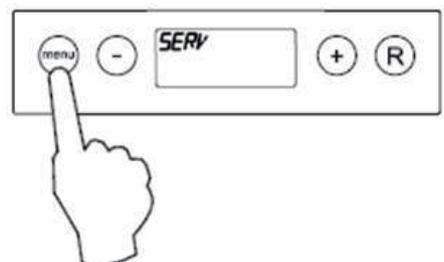
①基本表示の状態ですべてのボタンを押して、表示部パネルに「SET」を表示させます。



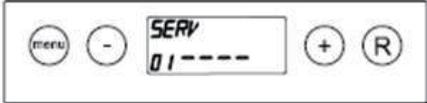
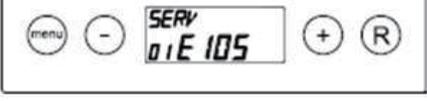
②①の状態ですべてのボタンを押して、「SERV」を表示させます。



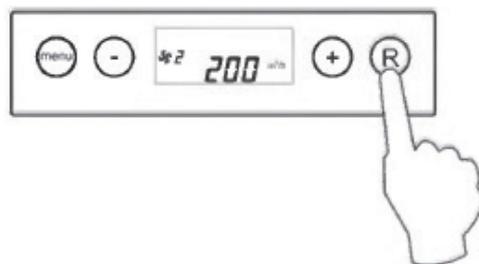
③「SERV」を表示している状態で「menu」ボタンを押して、エラー確認モードに入ります。



エラー履歴の見方

エラー状態	表示部パネルの見かた	表示
エラーなし	表示部パネルに、エラー番号が表示されていない。	
修理が必要なエラー	表示部パネルに、エラー番号とエラーシンボル表示が点灯している。	
修理済みのエラー	表示部パネルに、エラー番号が表示されている。	

- ④エラーを解除したい場合は、エラー原因を修理したのちに、「R」ボタンを5秒間長押しします。



MEMO

- エラーの原因が修理されていない場合は、エラーを解除できません。

エラーリスト

情報番号	該当部品	現象	対応方法
E100	SAファンの圧力センサー (赤色ホース)	回転数制御ができない。 外気温度が0℃以下になると、プレヒーターが動作します。	赤色ホースの抜け、破損、潰れの確認
E101	EAファンの圧力センサー (青色ホース)	回転数制御ができない。 外気温度が0℃以下になると、プレヒーターが動作します。	青色ホースの抜け、破損、潰れの確認
E103	バイパスの異常	バイパスが動かない。	X8コネクタ外れ バイパスモーターの異常
E104	EAファンの故障	EAファンが停止します。 プレヒーターが停止します。	X9/X11コネクタ外れ EAファンの異常
E105	SAファンの故障	SAファンが停止します。 プレヒーターが停止します。	X10/X11コネクタ外れ SAファンの異常
E106	外気温度センサーの異常	SAファンとEAファンが停止します。 プレヒーターが停止します。 バイパスを閉じます。	X7コネクタ外れ 外気温度センサーの異常
E107	室内温度センサーの異常	バイパスを閉じます。	X17コネクタ外れ 室内温度センサーの異常
E108	外付温度センサーの異常	プレヒーターが停止します。 地中熱交換を停止します。	外付けの温度センサーの異常
E109	CO ₂ センサーの異常	通常動作	CO ₂ センサーの異常
E111	湿度センサーの異常	通常動作	湿度センサーの異常
E999	基板異常	動作不良	基板上的ディップスイッチの設定が機器と不一致

修理が必要なエラーが表示されている場合は、下記①～⑤を確認の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

- ①型名：前面パネル(フィルターカバー裏側)の銘板ラベルに記載
- ②製造番号：前面パネル(フィルターカバー裏側)の銘板ラベルに記載
- ③エラー番号：EXXX
- ④納品日：
- ⑤お取扱い店(担当者名、電話番号)：

5. 試運転

- ①機器の専用ブレーカを「入」(ON)にします。
- ②P.6「4-3. 風量の設定のしかた」、P.8「4-4. バイパスモードの設定のしかた」を参照して機器の初期設定を住宅側の条件に合わせて変更します。
- ③オプションの風量切替スイッチを採用している場合は、P.14「4-10. オプション品の使い方」を参照して、風量切替スイッチの変更に合わせて風量が切り替わることを確認します。
- ④各給排気グリルの所で所定の風量が出ていることを確認します。
- ⑤機器の専用ブレーカを「切」(OFF)にします。

MEMO

- 所定の風量が出ていない場合は、給排気グリルの開口面積の変更等により、給排気グリルの風量を調節します。

おねがい

- 一部の給排気グリルのみ風量が出ていない場合は、機器側ではなく配管の未接続、空気漏れの可能性があります。必ず配管の接続状態、接続部の空気漏れの確認を行なってください。

- ⑥試運転の記録を記入する際は、下表をご使用ください。

検査日 年 月 日

検査会社名							
検査担当者名							
設定 風量	設定風量						
	弱運転設定風量「1」						
	通常運転設定風量「2」						
	強運転設定風量「3」						
バイパス設定温度							
項目	コントローラ表示		表示が正常であること				<input type="checkbox"/>
	エラー履歴		修理が必要なエラーがないこと				<input type="checkbox"/>
	ドレン排水管接続状況		ドレン配管が間接排水で適切に接続されていること				<input type="checkbox"/>
	専用ブレーカ		専用ブレーカで「入/切」できること				<input type="checkbox"/>
お部屋名	給気	風量	設定 風量	お部屋名	還気	風量	設定 風量
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
外壁→屋内（給気）フード				屋内→外壁（排気）フード			
備考							

MEMO

- 実測の風量測定値は、使用する測定器具や、測定周囲の環境等の条件により、30%程度の誤差が生じることがあります。
- 試運転開始直後に風量測定をすると、ダクト内に空気がめぐるまで実風量より風量が少なくなる場合があります。

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取り付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル（株）に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		型名	LWZ-170EPlus		
	お名前					
お取扱い店	社名	印	取扱者	製造番号	— —	
	〒					
	電話（ ）	—				
お取り付け日	年	月	日	保証期間	製品	お取り付け日から1年

機器はお取り付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取り付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈無料修理規定〉

- お引渡し仕様の条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル（株）にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
「お取り付け日」の記載がない場合、日本スティーベル（株）の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取り付け日」として起算します。
- ご転居等、お取り付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル（株）にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取り付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外（例えば車輦・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 消耗部品の交換、及び保守等の費用。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等



STIEBEL ELTRON

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明書、仕様図のダウンロード



日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階
TEL:03-5715-4655
(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください